

図 2 次 Q3-2 (15) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2005 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

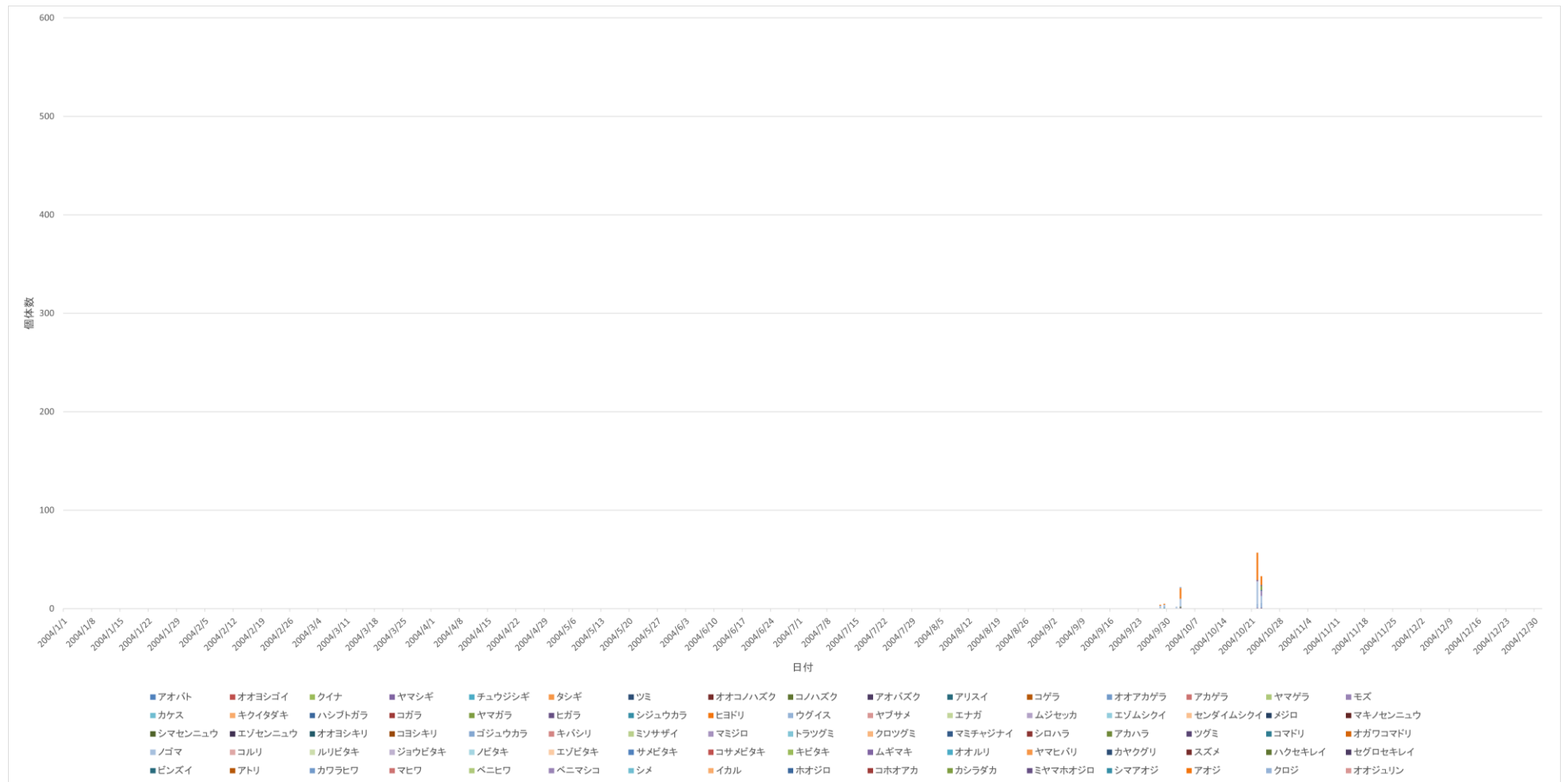


図 2 次 Q3-2(16) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2004 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

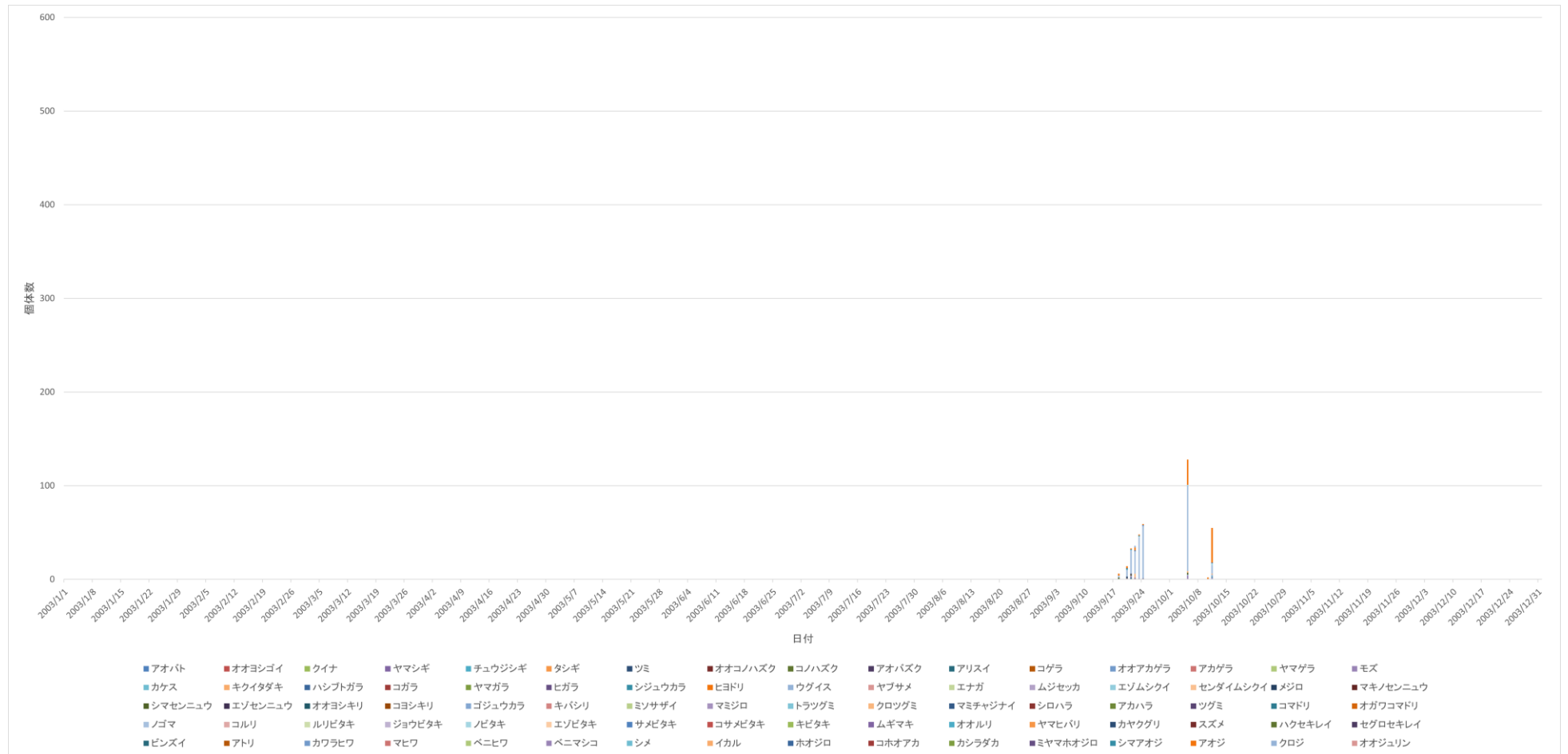


図 2 次 Q3-2(17) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2003 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

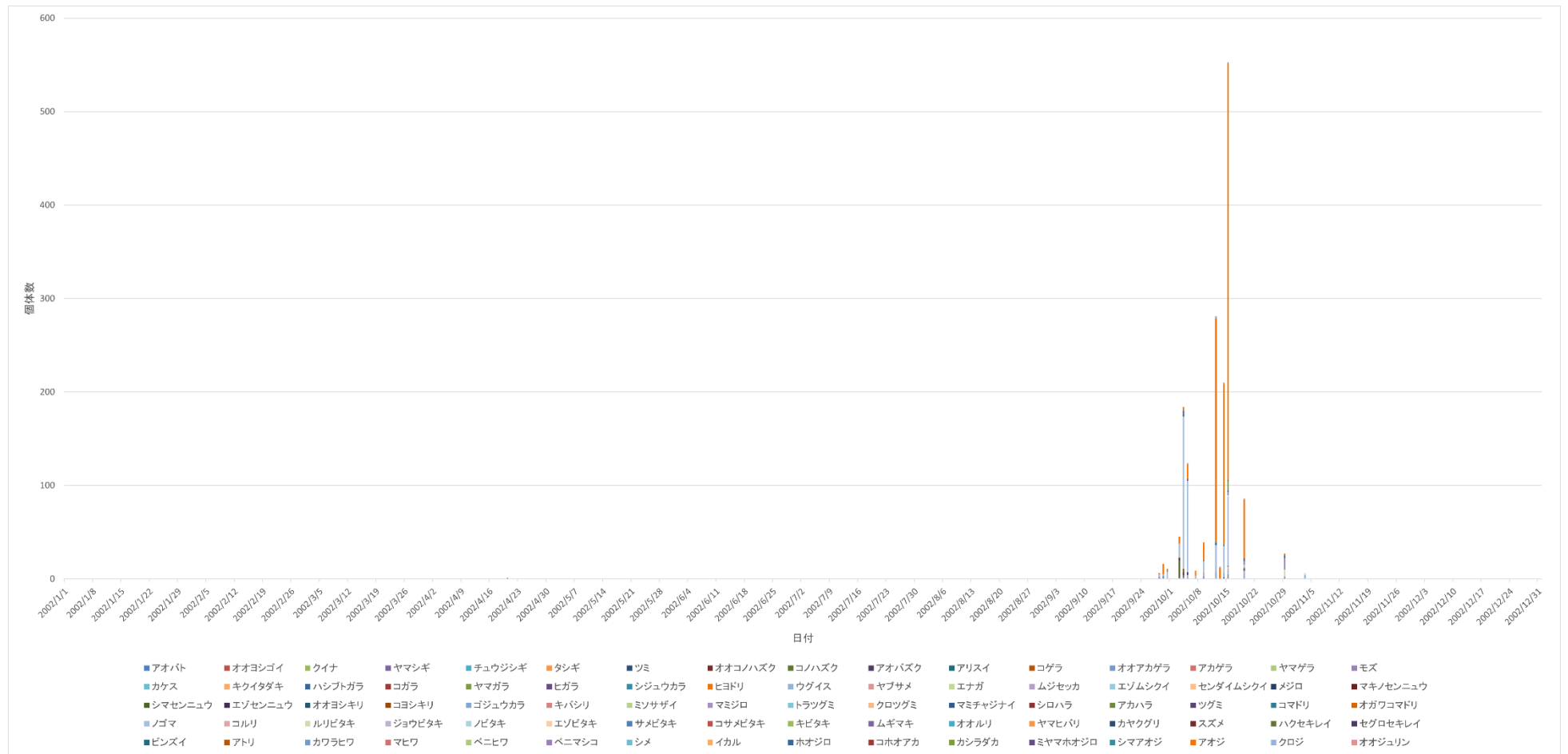


図2次 Q3-2(18) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2002年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第5-115号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

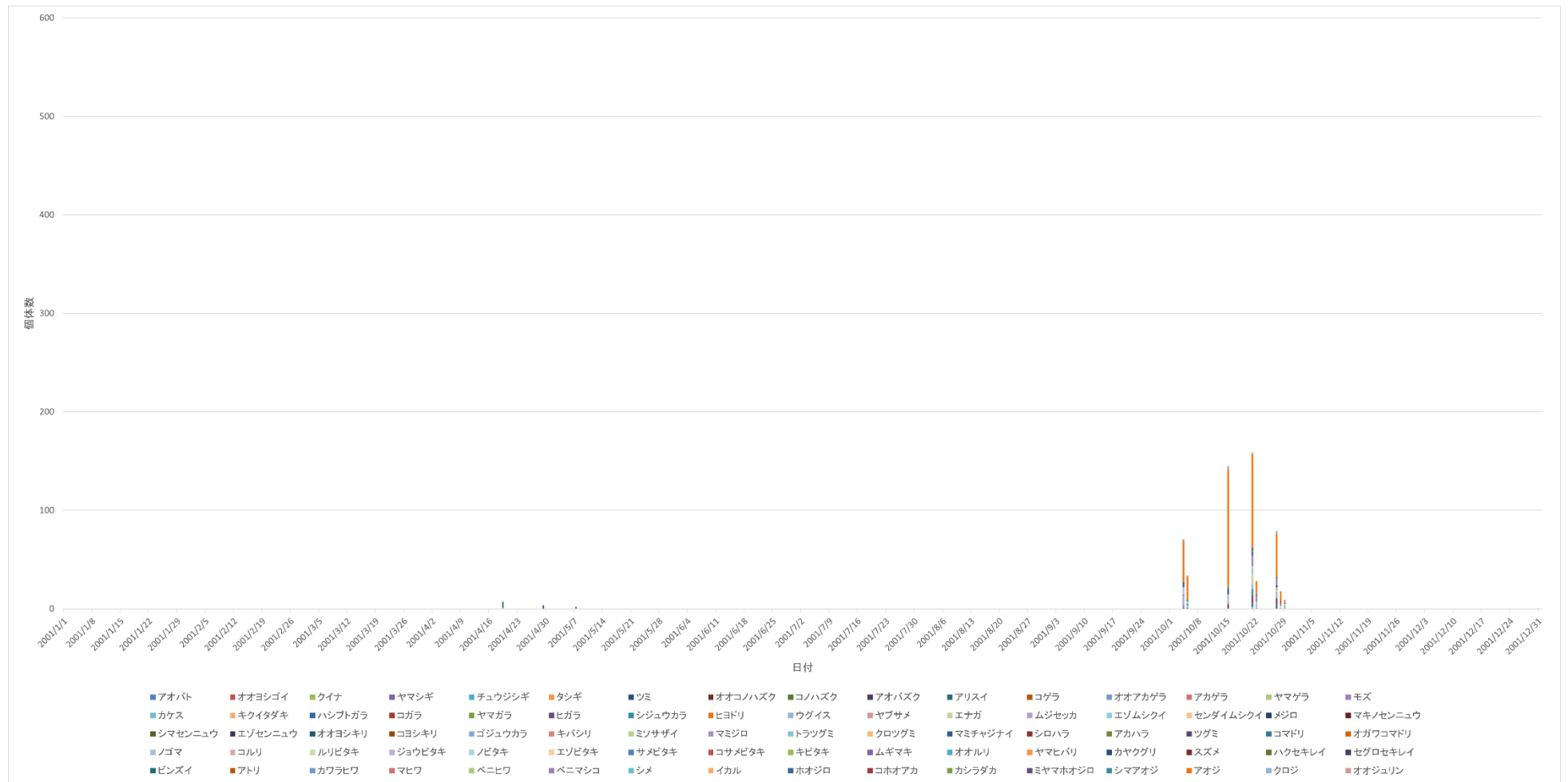


図 2 次 Q3-2(19) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2001 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

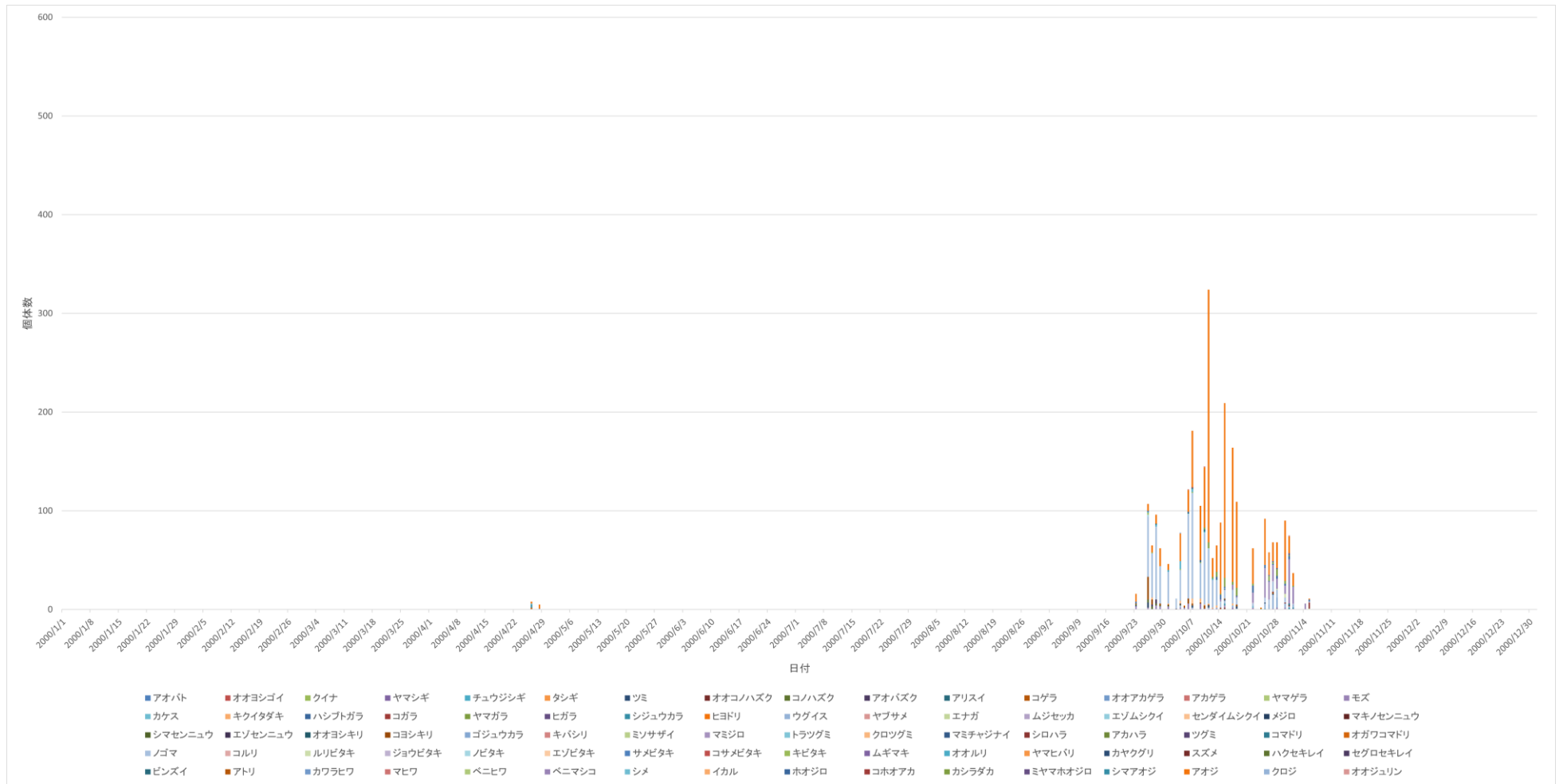


図 2 次 Q3-2(20) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2000 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

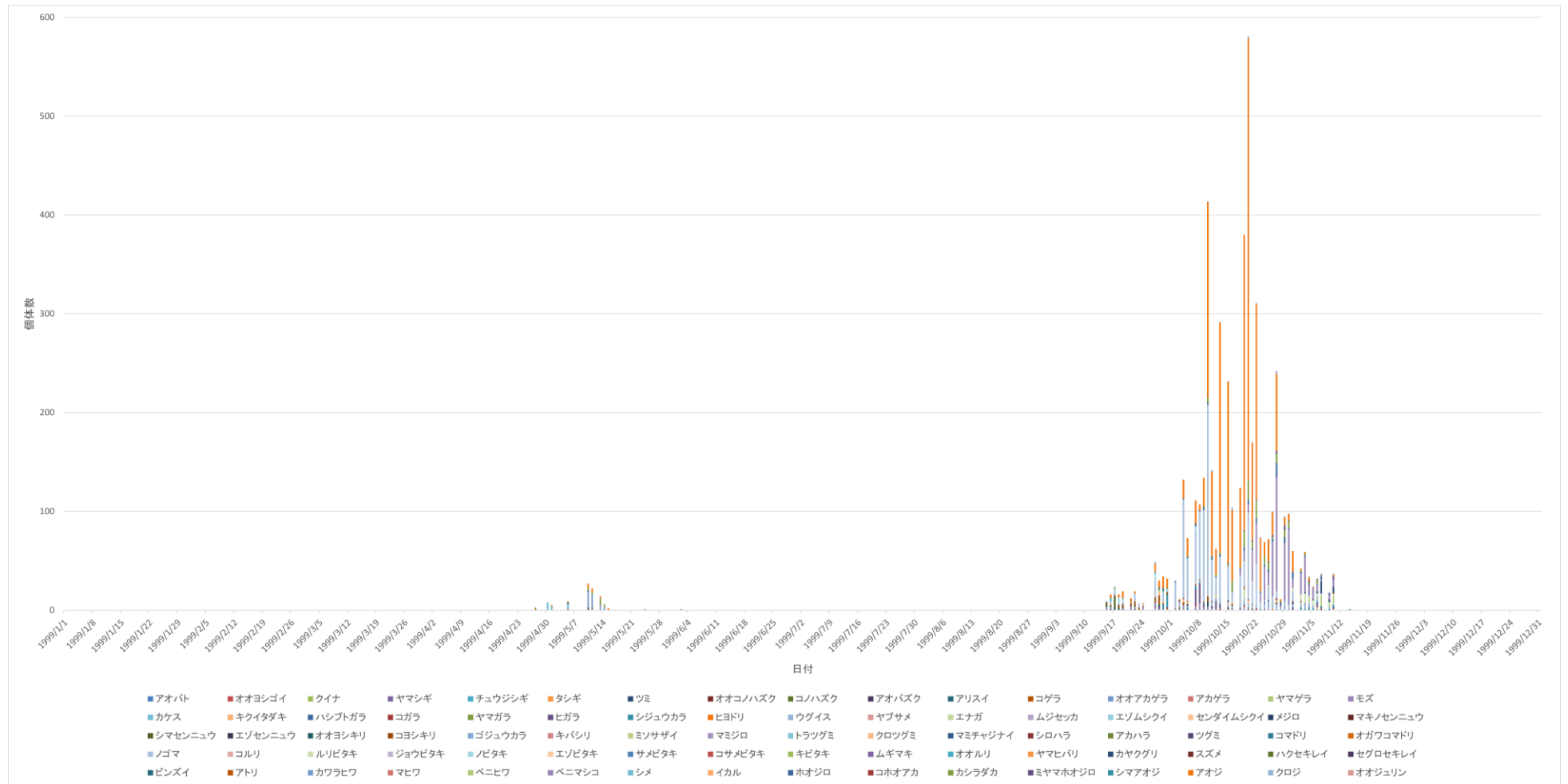


図 2 次 Q3-2(21) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (1999 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

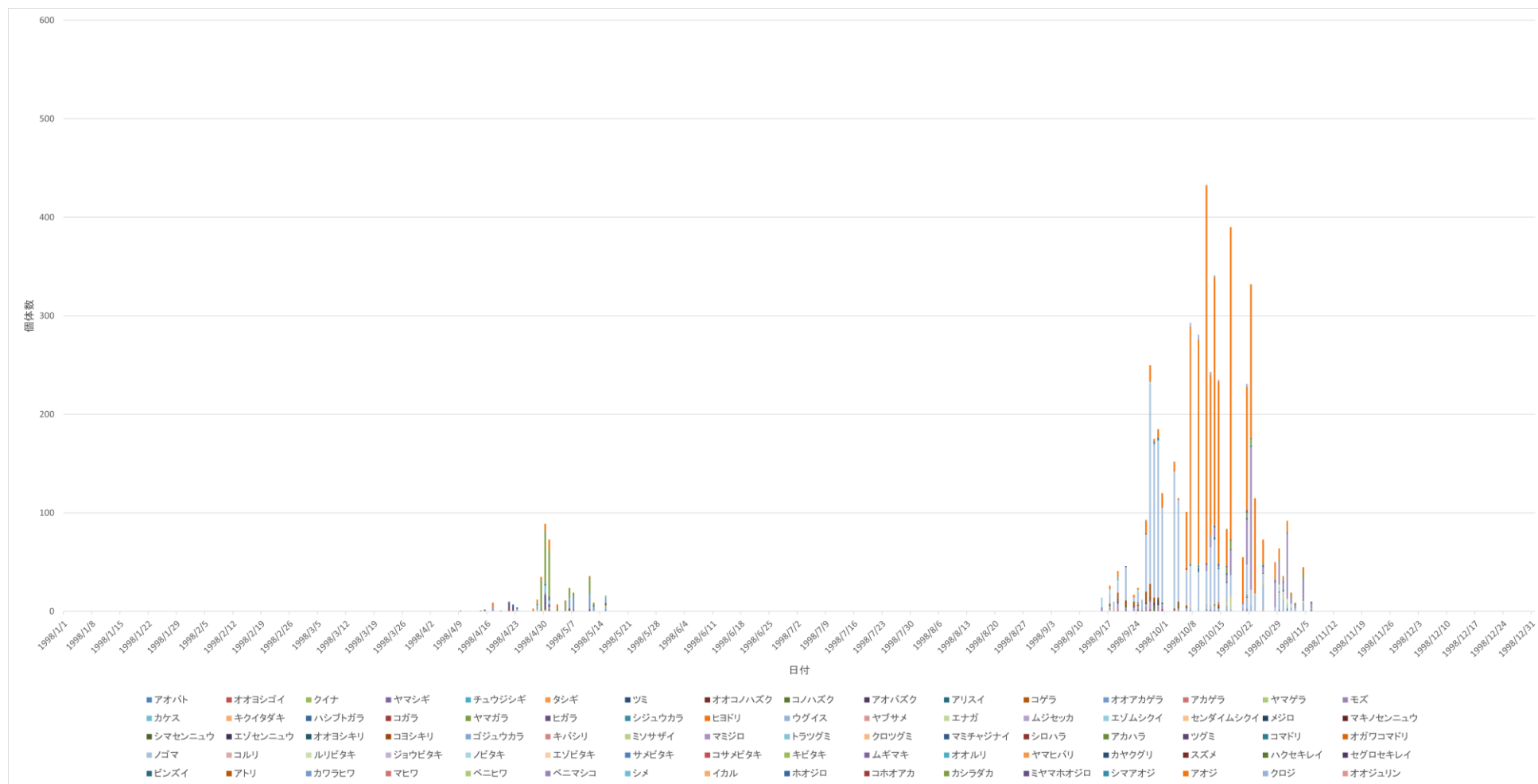


図 2 次 Q3-2(22) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (1998 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

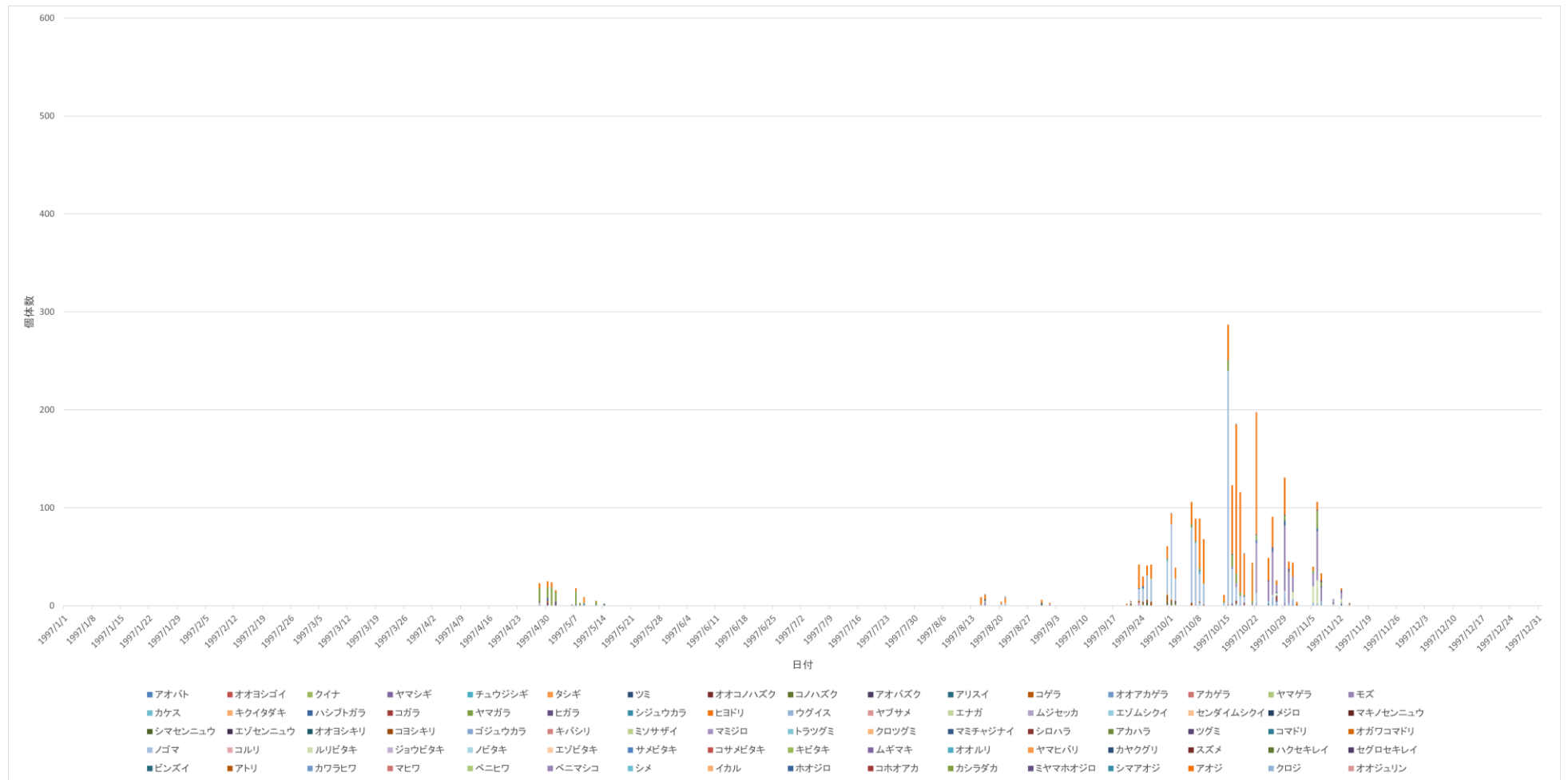


図 2 次 Q3-2 (23) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (1997 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

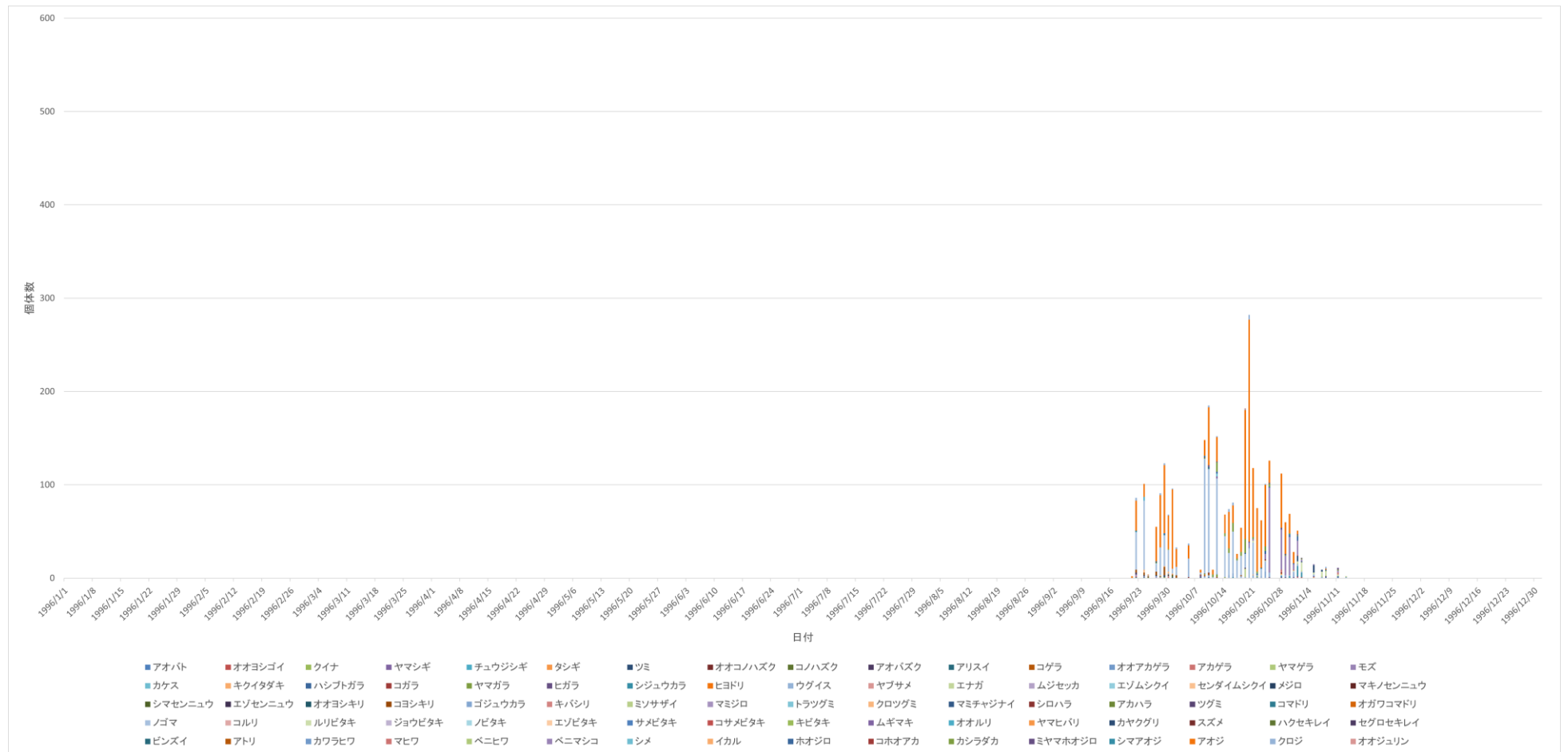


図 2 次 Q3-2(24) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (1996 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾（許可番号：山階保全第 5-115 号）を得た
 ※ 鳥類観測ステーション：松前白神（北海道松前郡松前町千軒）

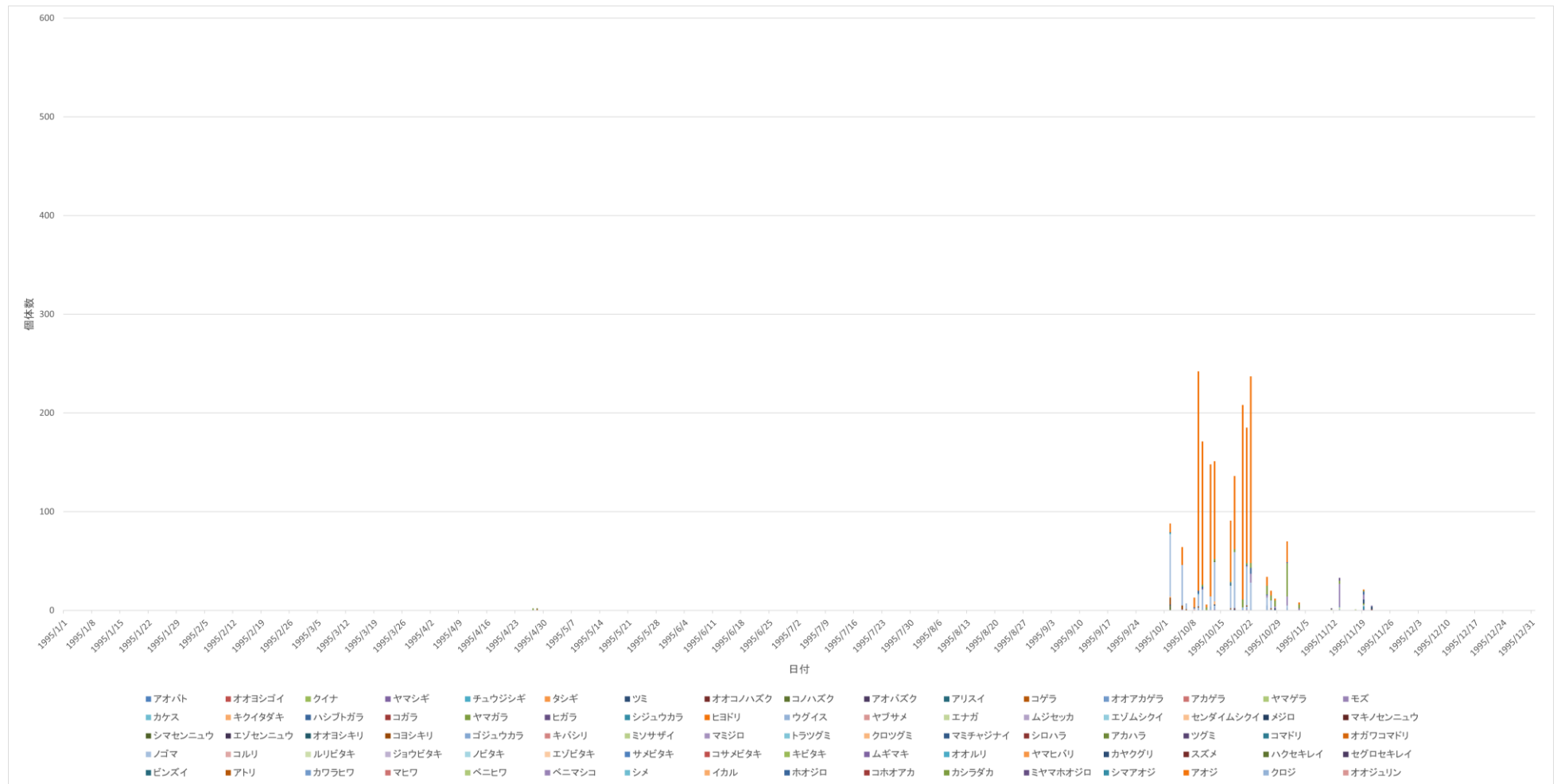


図 2 次 Q3-2 (25) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (1995 年、千軒)

※ これらのデータの使用には山階鳥類研究所の許諾 (許可番号: 山階保全第 5-115 号) を得た
 ※ 鳥類観測ステーション: 松前白神 (北海道松前郡松前町千軒)

2. 年別放鳥数

確認された種から表 2.1 に示す選定基準をもとに選定した種を個別で表示した。個別にグラフで示した種を表 2.3 に示した。

表 2.1 種別でグラフに示した種の選定基準

選定基準	
1	種を確認例数が多い順に並べ、多いものからの累積数が全体の8割を占めるようになる種までを選定した。
2	重要種の選定基準(表 2.2)に該当する種のうち、一年あたりの確認例数が1を上回るもの。

注：放鳥数データは当該地域の種構成を正確に反映しているものではないことに留意する。

表 2.2(1) 重要種の選定基準

選定基準		
I	「文化財保護法」（昭和25年法律第214号、最終改正：令和4年6月17日）、「北海道文化財保護条例」（昭和30年北海道条例第83号）、「福島町文化財保護条例」（昭和30年福島町条例第43号）及び「松前町文化財保護条例」（昭和52年松前町条例第10号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物	<ul style="list-style-type: none"> ・特天：特別天然記念物 ・天：天然記念物 ・道天：北海道天然記念物 ・福天：福島町天然記念物 ・松天：松前町天然記念物
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年法律第75号、最終改正：令和4年6月17日）及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令」（平成5年政令第17号、最終改正：令和5年2月3日）に基づく国内希少野生動植物種等	<ul style="list-style-type: none"> ・国内：国内希少野生動植物種 ・特一：特定第一種国内希少種動植物 ・特二：特定第二種国内希少種動植物 ・緊急：緊急指定種
III	「環境省レッドリスト2020」（環境省、令和2年）の掲載種	<ul style="list-style-type: none"> ・EX：絶滅・・・我が国ではすでに絶滅したと考えられる種 ・EW：野生絶滅・・・飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種 ・CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類・・・絶滅の危機に瀕している種（現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの） ・CR：絶滅危惧ⅠA類・・・ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの ・EN：絶滅危惧ⅠB類・・・ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの ・VU：絶滅危惧Ⅱ類・・・絶滅の危険が増大している種（現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」の категорияに移行することが確実と考えられるもの） ・NT：準絶滅危惧・・・存続基盤が脆弱な種（現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位 category に移行する可能性のある種） ・DD：情報不足・・・評価するだけの情報が不足している種 ・LP：絶滅のおそれのある地域個体群・・・地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

表 2.2(2) 重要種の選定基準

選定基準		
IV	<p>「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」(北海道、平成13年)の掲載種 ※昆虫類(チョウ目、コウチュウ目を除く)の掲載種とした。</p> <p>「北海道レッドリスト【哺乳類編】改訂版(2016年)」(北海道、平成28年)、「北海道レッドリスト【鳥類編】改訂版(2017年)」(北海道、平成29年)、「北海道レッドリスト【両生類・爬虫類編】改訂版(2015年)」(北海道、平成27年)、「北海道レッドリスト【昆虫類チョウ目】改訂版(2016年)」(北海道、平成28年)、「北海道レッドリスト【昆虫類コウチュウ目】改訂版(2019年)」(北海道、平成31年)及び「北海道レッドリスト【魚類編】改訂版(2018年)」(北海道、平成30年)の掲載種</p>	<p>【2001年版】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ex: 絶滅種…すでに絶滅したと考えられる種または亜種 ・Ew: 野生絶滅種…本道の自然界ではすでに絶滅したと考えられているが、飼育等の状態で生存が確認されている種または亜種 ・Cr: 絶滅危機種…絶滅の危機に直面している種または亜種 ・En: 絶滅危惧種…絶滅の危機に瀕している種または亜種 ・Vu: 絶滅危急種…絶滅の危機が増大している種または亜種 ・R: 希少種…存続基盤が脆弱な種または亜種 ・Lp: 地域個体群…保護に留意すべき地域個体群 ・N: 留意種…保護に留意すべき種または亜種 <p>【改訂版】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ex: 絶滅…すでに絶滅したと考えられる種または亜種 ・Ew: 野生絶滅…本道の自然界ではすでに絶滅したと考えられているが、飼育等の状態で生存が確認されている種または亜種 ・Cr: 絶滅危惧ⅠA類…絶滅の危機に瀕している種または亜種。ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの ・En: 絶滅危惧ⅠB類…ⅠA類ほどではないが近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの ・Vu: 絶滅危惧Ⅱ類…絶滅の危機が増大している種または亜種 ・Nt: 準絶滅危惧…現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種 ・N: 留意…保護に留意すべき種または亜種 ・Dd: 情報不足…評価するだけの情報が不足している種 ・Lp: 絶滅のおそれのある地域個体群…地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの
V	<p>「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」(平成25年北海道条例第9号)に基づく指定希少野生動植物種等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定: 指定希少野生動植物種 ・特定: 特定希少野生動植物種

表 2.3 グラフで図示した種

天狗山							
No.	種名	選定基準					
		1	2				
			I	II	III	IV	V
1	ヨタカ				NT	Nt	
2	ツミ					Dd	
3	オオコノハズク	○				Nt	
4	ヒガラ	○					
5	シジュウカラ	○					
6	ウグイス	○					
7	ヤブサメ	○					
8	オオムシクイ				DD	Lp [※]	
9	エゾムシクイ	○					
10	センダイムシクイ	○					
11	メジロ	○					
12	クロツグミ	○					
13	コルリ	○					
14	ルリビタキ	○					
15	アオジ	○					
16	クロジ	○					
千軒							
No.	種名	選定基準					
		1	2				
			I	II	III	IV	V
1	オオコノハズク					Nt	
2	ノゴマ	○					
3	ベニマシコ	○					
4	アオジ	○					

注：1. 種名は原則として「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。

2. 選定基準は、表 2.1、表 2.2 に対応する。

3. 表中の※は以下のとおりである。

※オオムシクイ道内繁殖個体群で掲載

2.1 北海道松前郡松前町白神天狗山(調査年:2012~2022年)

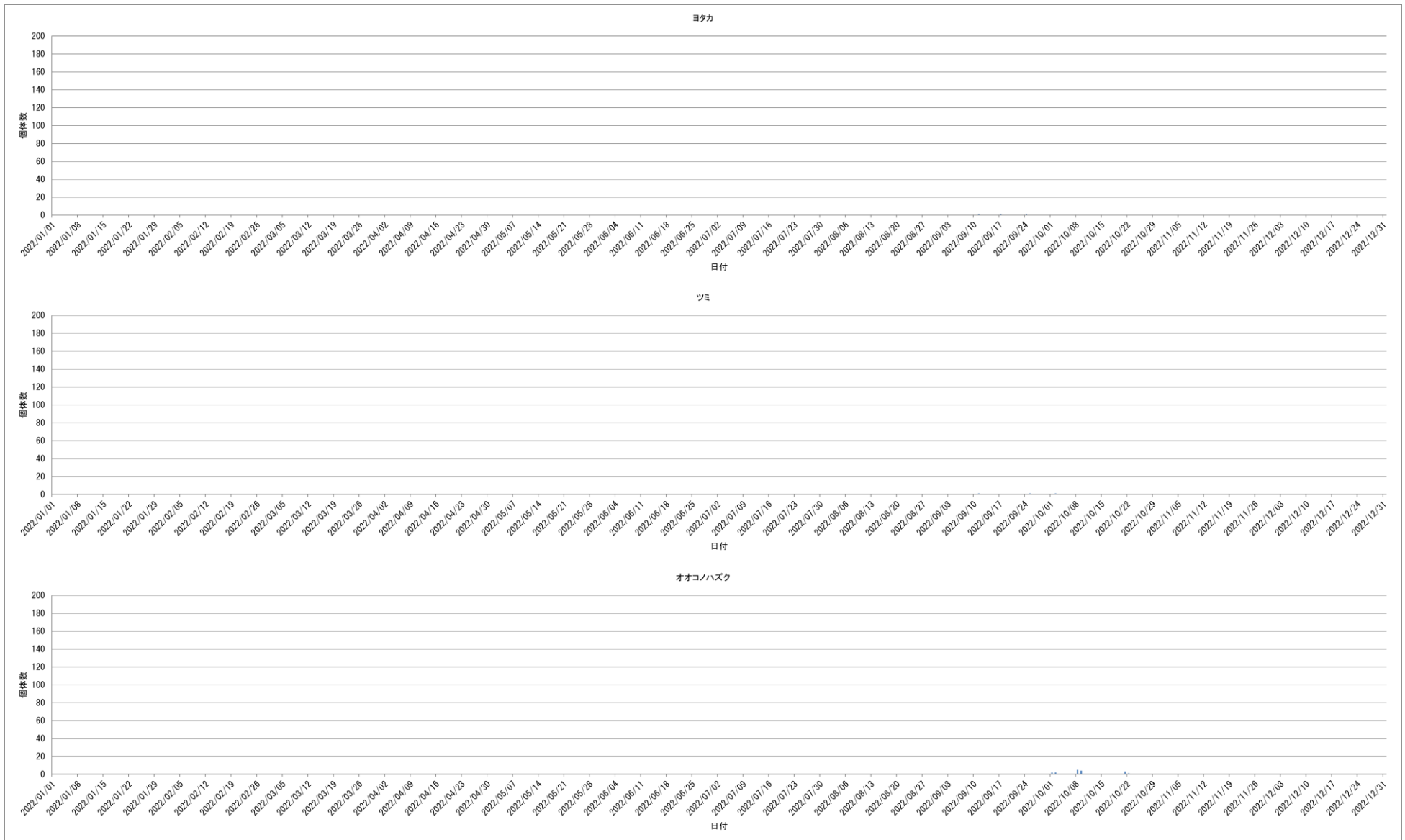


図2次 Q3-2(26-1) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査(2022年、天狗山)

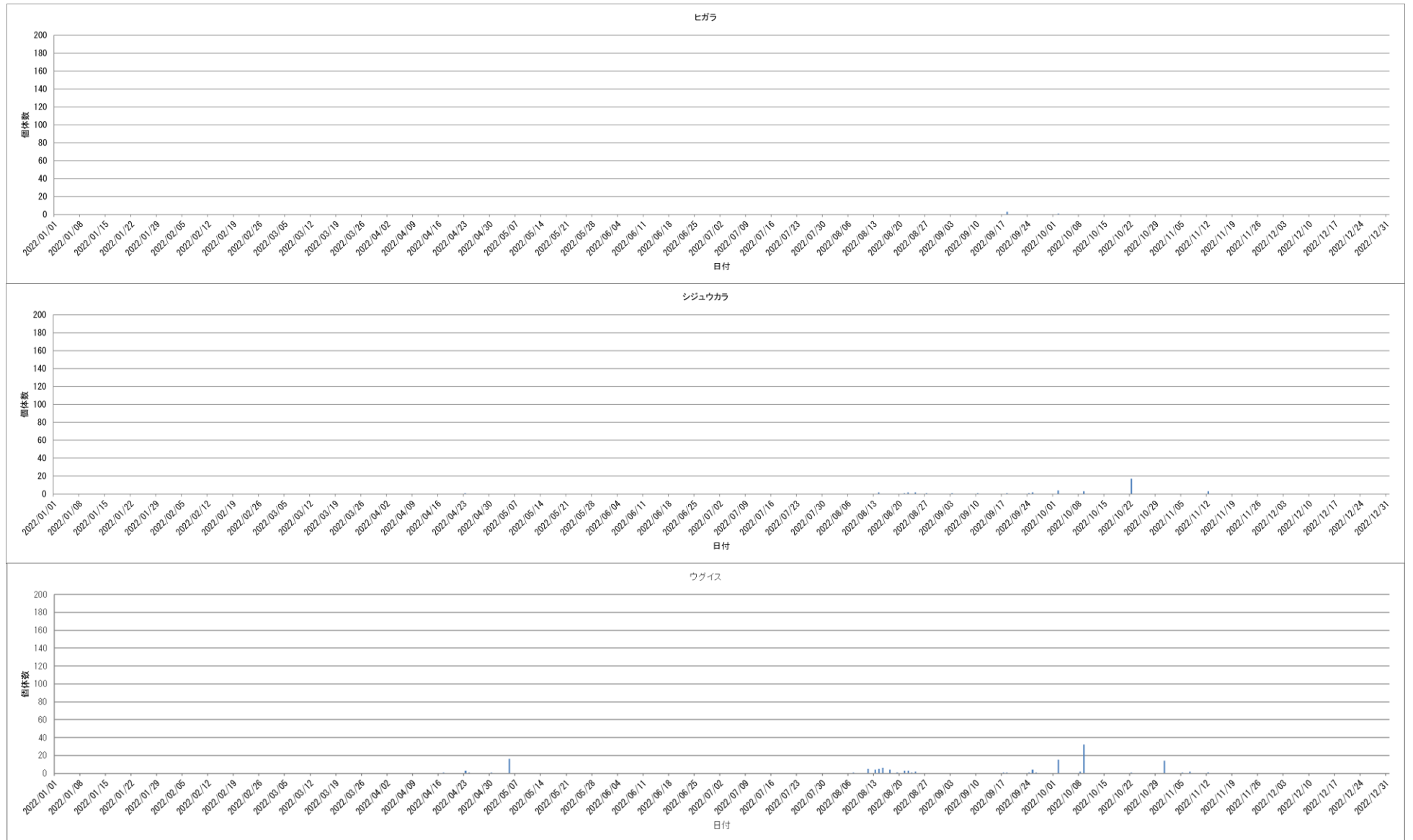


図 2 次 Q3-2 (26-2) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2022 年、天狗山)



図2次 Q3-2(26-3) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2022年、天狗山)

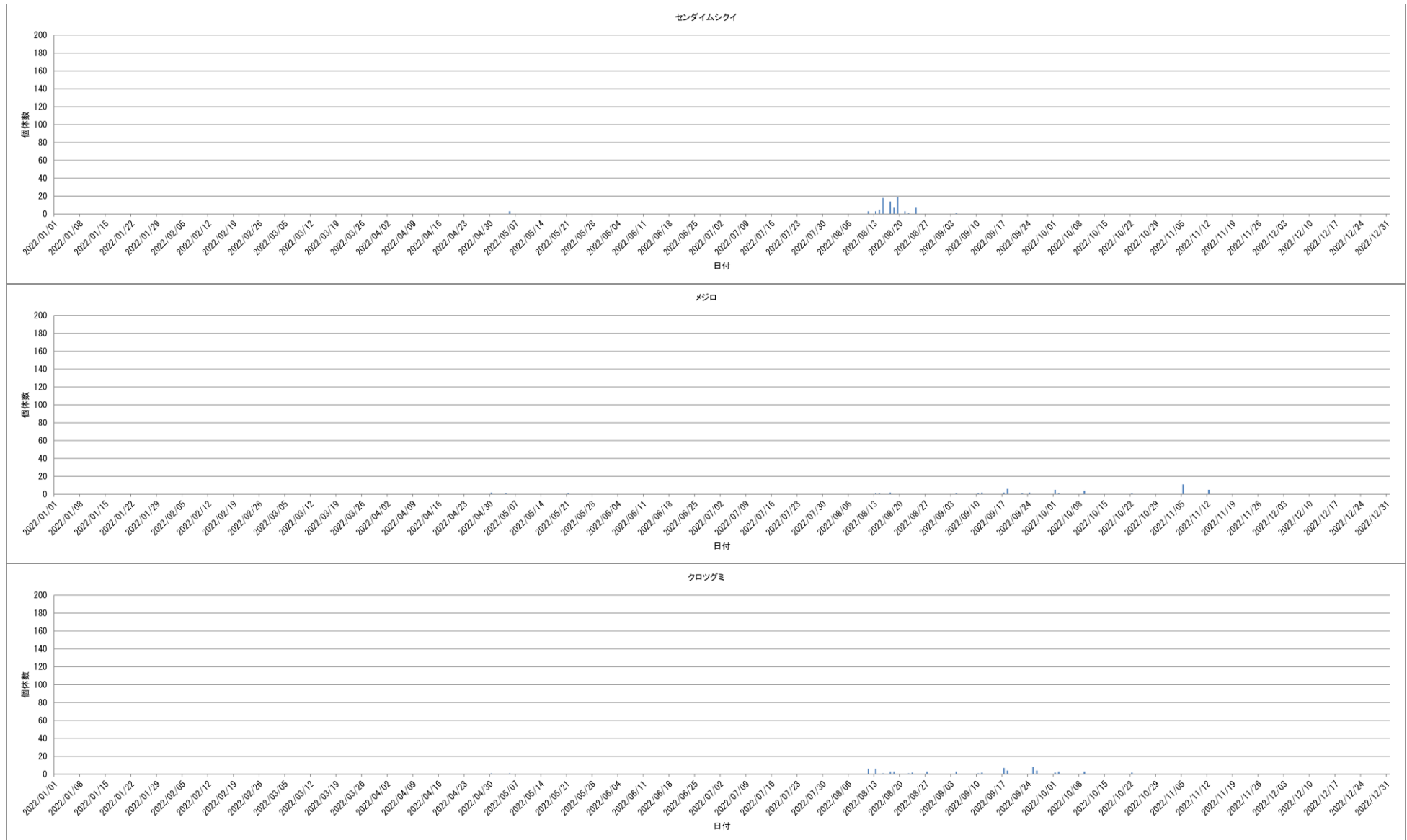


図 2 次 Q3-2 (26-4) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2022 年、天狗山)

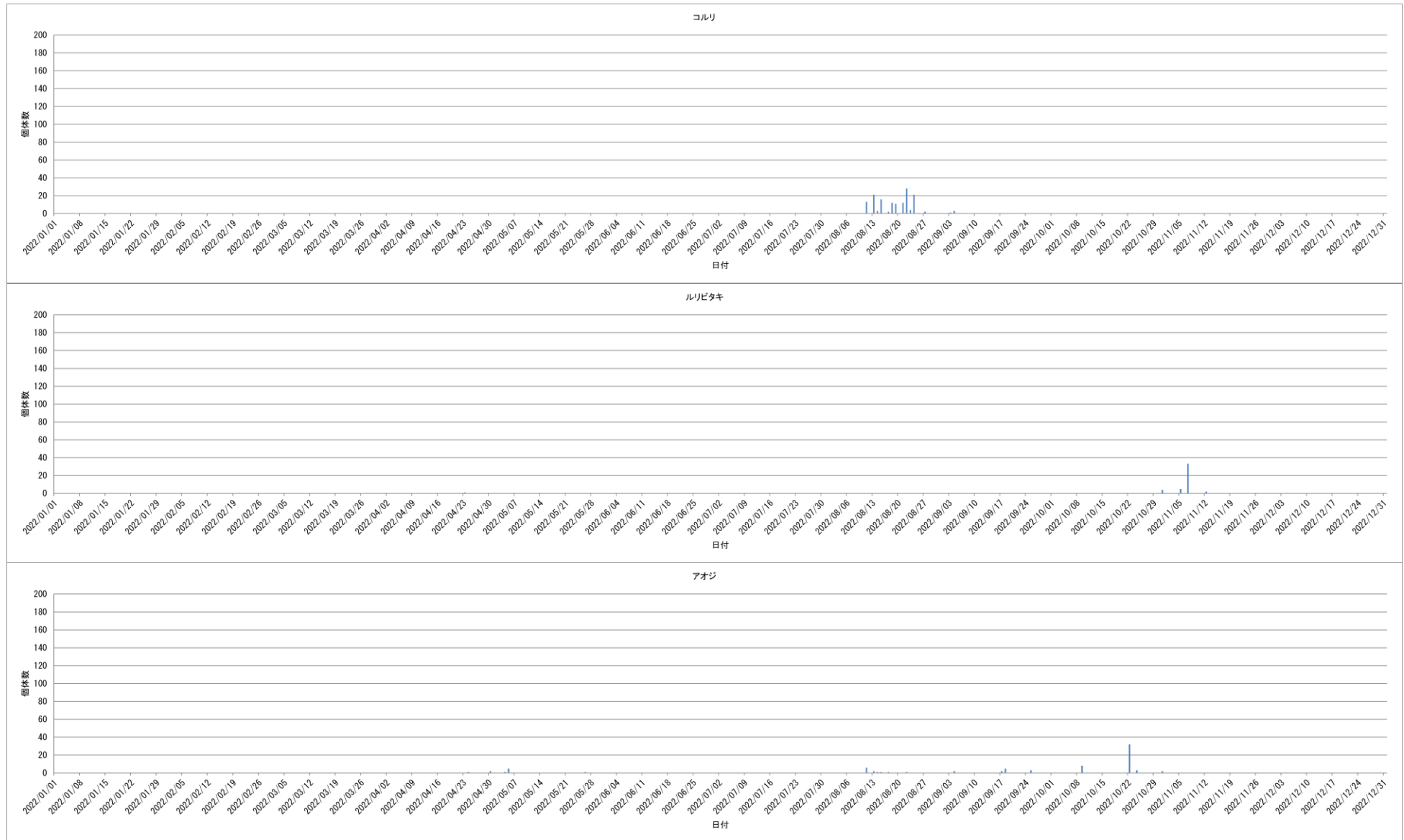


図2次 Q3-2(26-5) 環境省・山階鳥類研究所 鳥類標識調査 (2022年、天狗山)